

【東京都】「介護キャリア段位制度」

レベル認定者に月平均で2万円支給へ

東京都の舛添知事は1月15日夜、BS日テレの番組「深層NEWS」に出演し、介護職員の待遇の改善を図ろうと、スキルに応じて手当を上乗せする東京都独自の制度を設ける方針を明らかにしました。

「介護施設の充実に向けて積極的に取り組んできたが、ハードを作っても介護士がいなければ動かない。人材の確保が必要だ」と説明。キャリア段位制度を活用することで、職員のスキルアップと処遇の改善に結び付けたい考えを示されました。

具体的には、「キャリア段位制度」のレベル認定者に対し手当を支給するということです。手当は1人あたり月に平均で2万円程度であり、東京都は来年度予算案に経費を盛り込むことにしています。

東京都は施策の対象として、都内で介護職員がいる約1万の施設・事業所を想定しており、実際に支払う金額は、認定を受けた段位によって差をつけるようです。

● 平成27年度（2015年度）東京都予算（原案）の概要

↑↑【平成27年度の予算原案に計上されました】↑↑
当該事業につきましては、東京都内の介護保険サービス施設・事業所を対象としています。

(その他関連記事)

- 東京都、介護の「キャリア段位制度」の認定者に2万円支給へ
- 都が緊急提言、キャリア段位制度の介護報酬への反映を要請